

国際交流



年間を通じた国際交流

佐久大学には、開発途上国から看護職が研修にやってきます。目的は、佐久地域がこれまで開発してきた地域保健医療活動について学ぶことです。佐久大学ではそうした交流を通じて、海外の状況を知り、新たな看護教育のあり方を学ぶことができます。

これまで研修に来た国々は、アジア、アフリカ地域を中心に10か国以上で、佐久市が世界へとつながっていることを実感できます。



JICAアフリカ母子保健看護管理コースの本学での1日研修
アフリカ6か国の看護管理者と本学の学生が交流しました。